

6A



ぼくたちがここに  
いる  
本当の理由

DIRECTED BY KAORI SAKAGAMI

# PRISON

## プリズン・サークル

# CIRCLE

[www.prison-circle.com](http://www.prison-circle.com)

取材許可まで6年、撮影2年  
初めて日本の刑務所にカメラを入れた  
圧巻のドキュメンタリー

監督・制作・編集：坂上香 | 撮影：南幸男 坂上香 | 録音：森英司 | アニメーション監督：若見ありさ | 音楽：松本祐一 鈴木治行

製作：out of frame | 配給：東風 | 2019年/日本/136分/DCP/ドキュメンタリー ©2019 Kaori Sakagami



# 1/30

日

13:00~16:10  
(12:30 OPEN)

丸亀市・PROS・丸亀市文化協会 協働事業

## プリズン・サークル 映画上映会

丸亀市市民交流活動センター(マルタス) ROOM3・4

PROS(Prevent Re-Offense Sanuki)は、「さぬき再犯防止プロジェクト」の活動に取り組む、県内大学生の団体です。

映画上映会後、PROSメンバーによる活動報告があります。

字幕・音声ガイドがついたみんなに優しい映画上映会です。

申込は応募フォームQRコードから →

新型コロナウイルス感染症予防の対策を講じて開催します。

FAX,メールでのお申込みの際は、「氏名(ふりがな)」「住所」「電話番号」「メールアドレス」「所属」を必ずご記入ください。

主催・申込 丸亀市文化課 TEL:0877-35-8708 FAX:0877-24-8863 E-mail:kaikankensetu@city.marugame.lg.jp

鑑賞無料

事前申込要

定員50名



過熱する犯罪報道、  
厳罰化を叫ぶ声——  
けれど私たちは、この国の  
「罪」と「罰」について  
多くを知らない。

「島根あさひ社会復帰促進センター」は、官民協働の新しい刑務所。警備や職業訓練などを民間が担い、ドアの施錠や食事の搬送は自動化され、ICタグとCCTVカメラが受刑者を監視する。しかし、その真の新しさは、受刑者同士の対話をベースに犯罪の原因を探り、更生を促す「TC (Therapeutic Community = 回復共同体)」というプログラムを日本で唯一導入している点にある。なぜ自分は今ここにいるのか、いかにして償うのか？ 彼らが向き合うのは、犯した罪だけではない。幼い頃に経験した貧困、いじめ、虐待、差別などの記憶。痛み、悲しみ、恥辱や怒りといった感情。そして、それらを表現する言葉を獲得していく…。

DIRECTED BY KAORI SAKAGAMI

# PRISON CIRCLE

監督は、『ライフアーズ 終身刑を超えて』『トークバック 沈黙を破る女たち』など、米国の受刑者を取材し続けてきた坂上香。日本初となる刑務所内の長期撮影には、大きな壁が立ちはだかった。取材許可が降りるまでに要した時間は、実に6年。この塙の中のプログラムに2年間密着したカメラは、窃盗や詐欺、強盗傷人、傷害致死などで服役する4人の若者たちが、新たな価値観や生き方を身につけていく姿を克明に描き出していく。

処罰から回復へ  
今、日本の刑務所が  
変わろうとしている